

事業所名 児童発達支援センター れいんぼ～

支援プログラム

作成日 令和7年 3月 1日

法人（事業所）理念		発達に遅れや偏りのある子どもやその家族が地域の中でその人らしく幸せな生活が実現することを目指す。						
支援方針		「たのしい」「できた」「チャレンジ」をモットーにアセスメントをもとにした療育を展開し、子どもたちの個性を尊重しながら、保育士や児童指導員、心理士や作業療法士、言語聴覚士などの専門職がチームとなって支援を行う。						
営業時間		8時	30分から	17時	30分まで	送迎実施の有無	あり	なし
		支 援 内 容						
本人支援	健康・生活	・ 基本的な身辺自立（食事、着替え、排せつ）を目指し、お子さんの現状を確認しながら、スモールステップで支援をしていきます。 ・ 見通しをもって主体的に生活ができるように、お子さんの理解に合わせて絵カード等によるスケジュール提示を行っていきます。 ・ 安心して活動に取り組めるように、環境を整えて（刺激の調整）、支援をしていきます。						
	運動・感覚	・ 粗大運動、微細運動について評価をして、楽しみながら運動能力が向上するようにプログラムを工夫していきます。 ・ 様々な感覚刺激を無理のない範囲で体験しながら、感覚の幅が広がるように、感覚統合をすすめていきます。 ・ 夏はプール遊びを行います。						
	認知・行動	・ 活動を通して視覚支援を適切に取り入れ、聴覚情報（言語指示など）と合わせることで、認知機能の発達を促していきます。 ・ お子さんの認知発達に合わせた教材を準備し、1対1での課題や自立的な学習を行い、数量や大小、色、図形や空間等について習得できるようにしていきます。						
	言語 コミュニケーション	・ コミュニケーションについて評価をし、活動を通して伝える、伝わる楽しさが経験できるように支援をします。 ・ 言葉以外のコミュニケーション（絵カード、ジェスチャー、文字など）を積極的に取り入れ、コミュニケーション能力の向上を図っていきます。 ・ 困ったとき、助けてほしい時に、適切に援助要求ができるようにお子さんに合わせた方法を伝えていきます。						
	人間関係 社会性	・ 遊びの場面を通して大人や友だちと楽しく適切な関わりができるように環境を工夫することで、一人遊びから協力遊びまでお子さんの発達に合わせた遊びを行い、対人関係や社会性の発達を促していきます。 ・ 対人関係や社会のルールについて小集団で学び、実践できるプログラムを提供します（ソーシャルスキルトレーニング）。 ・ 行動の切り替えや感情のコントロールなど気持ちや行動の調整ができるように支援をしていきます。						
家族支援		・ 専門職による個別相談を随時行っています。 ・ 保護者向けプログラムとして勉強会、ペアレントトレーニング、支援ツールワークショップを実施しています。			移行支援		・ 保育所等訪問支援事業を行い、併行通園先や小学校とお子さんの様子や支援方法などについて情報を共有しています。 ・ 引継ぎ資料としてアセスメントシートを作成しています。	
地域支援・地域連携		・ 保育所等訪問支援を活用し、関係機関との連携に努めています。 ・ 必要に応じてケース会議等への参加、企画をしています。 ・ 地域の依頼に応じて発達に関する講演を行っています。			職員の質の向上		・ 外部研修への参加をしています。 ・ 法人内研修を実施しています。 ・ 嘱託医と定期的にカンファレンスを行っています。	
主な行事等		併行通園をしているお子様の場合は園行事で経験をしていることが多いため、大きな行事は設定していません。季節感を感じられる程度の活動（七夕、ハロウィン、クリスマス等）を行っています。れいんぼ～を週5日利用するクラスでは遠足や運動会を行っています。全クラスとも3月末にお別れの集い（修了式）を行っています。						